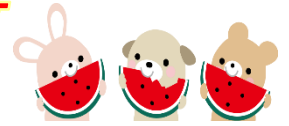




医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第92号

(R3/8/10)



第94回ワーキンググループ会議 (R3.7.15)

ある日突然訪れた『生命の選択』

＝家族の立場から＝

講師：久泉 和久さん・みちるさん

今年のお正月が明けて早々に、久泉さんのお父様をご自宅で倒れ、救急搬送されました。車を自ら運転して夫婦仲良く買い物に行くなど、前日まで自立した生活をされていたそうです。今回のワーキンググループ会議では、緊急入院から看取られるまでの一連の出来事を、奥様と共にお話いただきました。

「人の生き方、特に死に方は、本人が自由に選ぶことのできる最後の権利。家族が迷うことなく、本人の意思を叶えるために、みんなが納得できるものを生前から準備しておくことが大切と思う」

今後の治療について話し合いでは、延命治療について意見が分かれた。確実にみんなが納得する答えが必要なんだと思った。



最終的な判断は本人の意思に従う、ということがベスト。しかし、本人の意思が確認できる資料があっても、家族間で意見が割れてしまったのが実状。

今回考えさせられたのは、人の尊厳とは何なのか、ということ。医療の発展と生活習慣の変化により、在宅医療と病院医療では大きな差があるように思う。どちらを選択するかはケースバイケースで良いのではないか。

エンディングノートは、残された家族への最後のプレゼント。年に一度、家族が揃う正月などにちょこちょこ見直し、訂正して書き記すことが大切。

食い違う意見をまとめるにあたり、決め手となったのは、本人が記したエンディングノートと、配偶者である母の言葉だった。

今回は、医療職・介護職・家族の会・行政職など、会場16名、Web20名の合計36名の参加がありました。

参加者の声

- 子どもに自分の希望を伝えている。「私たちにまかせておいて」と言われてはいるが、話しておくことで、その時になったらその思いを汲んで判断してくれると思っている。
- かかりつけ医の一言、一押しがあると決心がつくのではないかな。
- 行政が市町の地域包括支援センターで相談ができることをもっと周知したり、高齢者自らが普段からサロンや教室などに参加して情報を集めておくことも大切だと思う。
- コロナ禍で外に出づらくはなっているが、この機会にICTの活用や、屋外でみんなまでできることを探していけると良い。
- 自分の最期をどう迎えるかということ普段から話し合うことは、自分のこととして考えていくことにつながる。その手段としてエンディングノートは有効なので、もっと活用・共有していくことが大切。
- 誰に意思を託すか、誰が代弁者となるかをもっと考える必要がある。
- エンディングノートに書いたように、本当にすんなり最期を迎えられるか、どこまで尊重できるか、という思いがある。

- 在宅で看取ることを望まれている方は多いが、それを尊重できる体制がどれくらい整っているのか。以前に比べたらずいぶん進んでいるという現場の声を聞くことはあるが、一住民として、この滋賀はどうなっているのか非常に気になる。
- 看取りの場面では、家族の中でも意見が違ってくる。また、医療者と非医療者では、疾患名や今後の理解の差が出てきてしまうため、突然訪れる死の受け止め方に違いがあることもある。
- 一つ一つを決めるのは非常に難しく、特に日本では生前から決めておくということは文化的に難しい背景があるが、様々な関係者がACPに関わろうという意識が大切だと思う。
- 死はどんな人にも平等。「自分はこうしてほしいと思っているが、お父さんお母さんはどう思っている？」と切り口を変えて聞いてみることも効果的では。

「助かるなら何でもやってあげたら良いのでは」というのは、医療現場にいると本当によく聞く言葉。自分にとって「助かる」「生きている」というのがどういう状態をさすのかを、元気な時から話し合っておき、大事な人に伝えておくということが大切で、それがまさに人生会議ではないか。



アドバイザーの犬塚先生
(滋賀県立総合病院)より

【令和3年度 総会・研修会】

○日時：令和3年8月22日(日) 13:45~16:00

○場所：コラボしが21 大会議室 (Web参加可)

<研修会>

テーマ：地域で取組む意志決定支援とは
～多職種がチームで取組む意思決定支援の実際と、
患者や家族の安心に届くケアとは～

コーディネーター：角野文彦 事務局長

シンポジスト

- 一杉 正仁 さん (滋賀医科大学医学部社会医学講座 教授)
- 犬塚 康孝 さん (滋賀県立総合病院 循環器内科副部長 / 守山野洲医師会)
- 久泉 和久 さん・みちる さん (看取りを経験した家族)
- 河合 桃子 さん (滋賀県立大学人間看護学部 4回生)

【次回ワーキンググループ会議】

○日時：令和3年9月30日(木) 18:30~20:00

○場所：滋賀県庁 新館7階 大会議室 (Web参加可)

テーマ：(仮題) 介護現場における意思決定支援の取組報告

講師：(株)六匠 取締役 森本 信吾 さん

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

TEL: 077-528-3529

FAX: 077-528-4851

E-mail: info@chikisouzoukaigi-shiga.jp